

## 資料配布の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通省建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
- 令和2年12月2日同時配布

令和2年12月2日  
国土技術政策総合研究所

## 既設橋梁基礎の性能評価手法及び補強設計法 に関する共同研究者を募集

国総研では、既設橋梁基礎の性能評価手法及び補強設計法を提案するため、共同研究者を本日より令和2年12月28日（月）まで募集します。

### 1. 研究項目

下記の研究項目へ、共同研究者として参加することができます。

- (1)地盤調査や施工時データに基づく既設橋梁基礎の信頼性評価手法の検討
- (2)不明基礎の信頼性評価手法の検討
- (3)新旧杭の荷重分担及び構造細目の検討
- (4)既設橋梁基礎の性能評価手法及び補強設計法の検討

※詳細については、別添資料を御参照ください。

### 2. 募集期間

令和2年12月2日（水）から令和2年12月28日（月）17時まで

### 3. 提案様式、提出方法

詳細につきましては、下記 URL をご参照ください。

国土技術政策総合研究所ホームページ <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kyoudou/index.html>

#### （共同研究の手続きに関する問い合わせ先）

国土交通省国土技術政策総合研究所

企画部 企画課 建設専門官 湯浅亮、研究官 稲見俊輝

TEL：029-864-2674、FAX：029-864-1527、

E-mail：nil-kyoudoukenkyu-kikaku@gxb.mlit.go.jp

#### （共同研究の研究内容に関する問い合わせ先）

国土交通省国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部 構造・基礎研究室 主任研究官 藤田智弘、研究官 佐々木惇郎

# 共同研究の公募要領

## 共同研究の名称

既設橋梁基礎の性能評価手法及び補強設計法に関する共同研究

## 担当研究室

道路構造物研究部 構造・基礎研究室

## 実施期間

協定締結後（令和3年2月予定）～令和5年3月31日

## 共同研究の目的

現行の道路橋示方書は新設橋梁を対象として、支持力の推定精度や施工精度のばらつきなどによる不確実性の大きさに応じて安全余裕を考慮した設計法を採用しており、不確実性に応じた合理的な設計が可能になっている。しかし、不確実性を考慮した既設橋梁基礎の性能評価手法や補強設計法については確立されていない。地盤調査や施工時データを活用することで構造物の性能をより正確に評価することができ、不確実性が小さくなると期待されている。

以上から、本研究では、既設橋梁基礎の補強設計をより合理的なものとするため、既設橋梁基礎特有の補修補強について事例を収集し、信頼性解析などを行うほか、道路橋基礎の設計に関する不確実性を適切に評価することにより、地盤調査や施工時データに基づく既設橋梁基礎の不確実性を考慮した性能評価手法及び補強設計法を提案する。

## 共同研究の内容(項目)

### (1) 地盤調査や施工時データに基づく既設橋梁基礎の信頼性評価手法の検討

既設橋梁基礎の性能を地盤調査や施工時データなどにより評価する手法を提案するため、地盤調査や施工時データの収集・整理、信頼性評価手法を検討

### (2) 不明基礎の信頼性評価手法の検討

不明基礎の諸元を調査や試験、再現解析などにより推定する場合の信頼性評価手法を提案するため、調査や試験、再現解析事例などの収集・整理、不明諸元の感度分析、信頼性評価手法を検討

### (3) 新旧杭の荷重分担及び構造細目の検討

補強により既設橋梁基礎に新たに杭を接合した際、既設部材と新設部材の各々にかかる荷重分担及び構造細目の検討

### (4) 既設橋梁基礎の性能評価手法及び補強設計法の検討

(1) 及び (2) の信頼性評価手法に基づく既設基礎の性能評価手法、(3) の不確実性を考慮した補強設計法の検討

## 研究の分担

研究項目	研究分担					年次計画		
	国総研	共同研究者				R2	R3	R4
		指定機関			公募			
		土木研究所	東北大学	全国地質調査業協会連合会	公募による参加者			
(1) 地盤調査や施工時データに基づく既設橋梁基礎の信頼性評価手法の検討	○	○	◎	◎	○	←→		
(2) 不明基礎の信頼性評価手法の検討	◎	○	○	◎	○	←→		
(3) 新旧杭の荷重分担及び構造細目の検討	○	◎	○	—	○	←→		
(4) 既設橋梁基礎の性能評価手法及び補強設計法の検討	◎	○	○	○	○	←→		

※「指定」とは国総研が別途指定する機関である。

※研究分担の欄の記号は以下のとおりである。

◎：該当する項目及び細目を主として分担する場合

○：該当する項目及び細目を従で分担する場合

—：該当する項目及び細目を特に分担しない場合

※共同研究者は、各自の技術開発能力の高い分野の研究を分担しつつ、相互に連携して研究を進めるものとする。

## 参加条件

共同研究者（公募）は、以下の条件（①～③について全て）を満たすものとする。

① 研究項目毎に以下の研究の実績を有すること

研究項目（1）：地盤調査又は橋梁基礎施工時データの信頼性評価に関する研究実績

研究項目（2）：不明基礎の信頼性評価に関する研究実績

研究項目（3）：既設橋梁基礎の増し杭補強の設計法に関する研究実績

研究項目（4）：橋梁基礎の信頼性設計法に関する研究実績

② 共同研究の実施ができる体制が確保できること

③ 本共同研究に必要な費用を分担できること

## 参加条件の審査

参加者の決定にあたっては、共同研究応募申請書に基づき審査し、上記の「参加条件」に照らして道路構造物研究部で総合的に評価し、判断する。なお、必要に応じてヒアリングを実施する。

## **共同研究応募申請書**

共同研究応募申請書は以下の書類を添付したうえで、提出するものとする。

### **参加条件の②及び③を示す書類**

- (1) 定款、会社等経歴書
- (2) 貸借対照表、損益計算書または財務書類
- (3) 共同研究費積算内訳書
- (4) 研究責任者及び参加する研究員の経歴書

### **参加条件の①を示す書類**

- (5) 当該共同研究に関連する論文
- (6) 設備の概要書（※必要に応じて）
- (7) その他の参加条件の証明書類（※必要に応じて）

## **注意事項**

本共同研究において、各者で実施する研究に係る費用については、各者で負担していただきます。（国総研から共同研究者に対し、費用を支払うことはできません。）

また、共同研究者は、本共同研究のうち、国総研の研究分担に係わる請負業務への競争参加資格はなくなりますので、ご注意下さい。

## **その他**

公募については研究項目（1）～（4）について各々独立して行うものとするが、複数の研究項目に対して並行して応募することを拒まない。

## **問い合わせ先**

（共同研究の手続きに関する問い合わせ先）

企画部 企画課 建設専門官 湯浅亮、研究官 稲見俊輝

TEL：029-864-2674 / FAX：029-864-1527

E-mail：nil-kyoudoukenkyu-kikaku@gxb.mlit.go.jp

（共同研究の研究内容に関する問い合わせ先）

国土交通省国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部 構造・基礎研究室 主任研究官 藤田智弘、研究官 佐々木惇郎

TEL：029-864-7189、FAX：021-864-2690

E-mail：nil-kouzoukiso@mlit.go.jp